

令和 5 年 度

事 業 報 告 書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

社会福祉法人

筑前町社会福祉協議会

令和5年度 筑前町社会福祉協議会事業報告書

I. 総括的概要

社会福祉法人筑前町社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、地域が抱えている様々な問題を地域課題と捉え、中核的な機関として地域福祉の推進を行っている組織です。

令和5年度は、全国的に大規模な災害が数多く発生し、被災した近隣市町村へ職員の派遣を行いました。

社協として組織体制に着目し「働きやすい、風通しの良い職場づくり」を意識し、町民と直接的に接する職員一人一人の意見を尊重できる体制づくりの契機となる年度となりました。

総合相談係では、生活福祉資金の特例貸付の償還が開始され貸付対象者にアンケート調査を実施しました。今後の生活に対してどう寄り添い、支援していくかが直近の課題となっています。

地域福祉係では、地域福祉活動の担い手、ボランティアの高齢化等による人材不足を課題として、若い世代の思いや考えを知るために、地域や人とのつながり、これからの地域福祉の重要性を知ってもらうことを目的とした講座を試験的に開催することができました。

またコロナ禍の影響もあり共同募金配分金の減少に対して、事業内容の見直しや廃止も含め議論しました。今後は町民の理解を得ながら、これからの時代に沿った共同募金配分金の活用を模索していきます。

II. 重点施策

1. 法人運営事業の体制基盤整備

- (1) 11月に個人面談を実施し、職員一人一人の業務に対する思いや悩みを共有する場を設けました。
- (2) 時間外申請を事務局次長に申請後、事務局長に承認を得る申請方法に改善し、申請しやすい仕組みとサービス残業の廃止に努めました。
- (3) 毎月、3者ミーティング（事務局長、事務局次長、地域福祉係主査）を通じて情報、課題共有の場を設けました。
- (4) 毎月、各係でミーティングを実施し、各事業の進捗や課題への情報共有を図りました。

2. 各種相談事業による相談者への寄り添った支援の実施

- (1) コロナ特例借入をして償還免除の手続をした世帯へのアンケート調査を実施しました。その後、アンケート回答を精査し、面談および聞き取り対応を行い、関係機関へつなぎました。

(資金貸付事業 12P)

3. 災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直しと、地域や関係機関との連携・協力体制づくり

- (1) 災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直しに着手することができませんでした。
- (2) 福岡県総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンター開設・運営訓練を行い、参加者に災害ボランティアセンターの目的や仕組みの理解を求めました。

(災害ボランティアセンター 21P)

4. 地域での支え合い活動の推進

- (1) 地域支えあい推進員が中心となり、スポット的に地域に介入し、つどいの場構築の推進及び個別の日常生活の困りごと解決に向けた支援に努めました。

(生活支援コーディネーター事業 14P)

5. 町内の社会福祉法人や関係機関と連携した生活困窮者支援の実施

- (1) 社会福祉法人連絡会とサポーター部会で情報共有を行い、関係機関と連携し生活困窮者へ寄り添った支援を行いました。

(社会福祉法人連絡会 20P 参照)

6. 筑前町地域福祉活動計画実現に向けて

- (1) 重点事業 10 事業に対して半期、年度末での進捗状況確認とその後の方針を共有し、令和 7 年度の最終目標実現のために取り組みました。

(別紙 地域福祉活動計画の実現に向けての進捗状況と方針表)

III. 事業別実績

1. 法人運営

- (1) 法人運営事業

①会議の開催

名 称	期 日	内 容
監 査	5 月 18 日 (木)	●令和 4 年度決算監査
第 1 回 理事会	5 月 29 日 (月)	●会長の職務執行状況の報告について ●専決事項の報告について ・令和 4 年度 第 3 次補正予算 ・敬老館運営事業の受託契約終了 ・令和 5 年度 第 1 次補正予算 ●筑前町社会福祉協議会定款の一部改正について ●評議員候補者の推薦について ●評議員選任・解任委員会の招集について ●役員候補者の推薦について ●令和 4 年度事業報告及び決算報告の承認について ●定時評議委員会の招集について
第 1 回 評議員選任・解任委員会	6 月 7 日 (水)	●評議員の就任について ●評議員の選任について
第 1 回 定時評議員会	6 月 14 日 (水)	●評議員の就任について ●専決事項の報告について ・令和 4 年度 第 3 次補正予算 ・敬老館運営事業の受託契約終了 ・令和 5 年度 第 1 次補正予算 ●筑前町社会福祉協議会定款の一部改正について ●役員の選任について ●令和 4 年度事業報告及び決算報告の承認について
第 2 回 理事会	6 月 14 日 (水)	●会長・副会長の選任について ●評議員選任・解任委員の選任について

第3回 理事会	8月30日(水)	●会長の職務執行状況の報告について ●敬老の日祝い事業について ●共同募金A枠特別配分の決定について ●令和5年度7月豪雨による災害支援について
町監査	10月3日(火)	●財政支援団体監査
第4回 理事会	12月19日(火)	●会長の職務執行状況報告について ●正規職員内部登用要綱の制定について
監査	12月5日(火)	●令和5年度半期監査
第5回 理事会	3月15日(金)	●会長の職務執行状況の報告について ●事務局長就任について ●役員等賠償責任保険の加入について ●令和5年度第2次補正予算について ●令和6年度事業計画及び予算の承認について ●評議員会の招集について
第2回 評議員会	3月28日(木)	●事務局長の選任について ●令和5年度第2次補正予算について ●令和6年度事業計画及び予算の承認について

(2) 組織運営及び機能強化

①財務運営管理

- 適正な財務管理に努めました。

(3) 役職員の資質の向上

①総合相談係

県社会福祉大会	10月23日(月)
地域自立支援協議会担当者会議	1月23日(火)
朝倉地区障害者等自立支援協議会関係 計画相談部会	4月20日(木)・5月31日(水) 8月17日(木)・10月19日(木) 12月7日(木)・2月22日(金)

子ども支援部会	4月21日(金)・6月16日(金) 9月22日(金)・11月24日(金) 2月22日(木)
地域在宅支援部会	5月16日(火)・7月18日(火) 9月19日(火)・11月14日(火)
運営部会	6月6日(火)・10月10日(火) 3月8日(金)
全体会	7月6日(木)・3月25日(月)
筑前町地域自立支援協議会	5月23日(火)・6月10日(土) 8月8日(火)・10月18日(水) 11月11日(土)・2月26日(月)
朝倉地区障害者差別解消支援地域協議会 障害支援区分認定調査員研修初任者向け (オンライン)	6月6日(火)・3月8日(金) 5月26日(金)
精神障がい者地域支援会議 制度改正・報酬改定説明会	9月21日(木)
県福祉情報センター障がい者福祉専門委員会	3月27日(水) 10月3日(火)・11月28日(火)
生活福祉資金事務説明会	2月7日(水)
日常生活自立支援事業 専門員研修	5月31日(水) 6月14日(水)・7月26日(水) 11月16日(木)・2月28日(水)
成年後見制度利用促進研修会	8月28日(月)
権利擁護支援研修会	2月22日(木)
人権相談従事者職員研修	9月5日(火)～6日(水)
安全運転管理者講習	11月2日(木)
人権擁護委員会障害福祉サービス勉強会	11月20日(月)
人権啓発研修会	2月8日(木)
人権・同和問題啓発研究会	4月28日(金)・6月19日(月) 8月9日(水)・10月23日(月) 12月19日(水)・2月21日(水)
両筑地区社協連絡会全体研修会	2月3日(土)
災害ボランティアセンター研修	2月10日(土)
社会福祉法人が取り組む権利擁護研修会	2月22日(木)

日常生活自立支援委事業専門員研修会	2月28日(水)
生活困窮者支援に活かす社会調査研修	9月7日(木)
生活困窮に関する研修会	3月12日(火)
両筑地区社協日常生活自立支援事業連絡会	6月28日(水)
両筑地区社協生活福祉資金担当者会議	1月12日(金)
両筑地区社協連絡会障害者相談支援担当者会	3月18日(月)

②地域福祉係

両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会	4月5日(水)・11月1日(水)
地域福祉計画・重層的支援体制整備事業に関する研修会	2月22日(木)・3月27日(水)
福岡県地域福祉職員連絡会研修	5月12日(金)
福岡県総合防災訓練全体会議	5月26日(金)・8月25日(金)
福岡県総合防災訓練	11月27日(月)・1月26日(金)
災害VC設置運営訓練全体研修	3月5日(火)
災害ボランティアセンター振返り会議	4月26日(水)
ふくおかライフレスキュー事業フォローアップ養成研修	5月28日(日)
全国福祉教育推進研修	6月20日(火)
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	2月27日(火)
両筑地区地域福祉活動部会	8月2日(水)
地域福祉活動職員連絡会研修	9月20日(水)
SC交流会	5月22日(月)・11月22日(水)
県SC連絡会	11月1日(水)
県ボランティアセンター運営委員会	11月27日(月)
福岡県内公益NPO・ボランティアセンター等連絡会	9月29日(金)
福祉教育セミナー	6月6日(火)・10月10日(火)
地域福祉活動職員連絡会研修	12月4日(月)・2月8日(木)
地域福祉活動職員連絡会	3月22日(金)
	12月21日(木)・2月5日(月)
	12月26日(火)
	1月26日(金)
	3月5日(火)

両筑地区ボランティア担当職員意見交換会 市町村社協職員研修会	5月22日（月）・11月20日（月） 3月26日（火）
-----------------------------------	--------------------------------

※SC とは生活支援コーディネーター（地域支えあい推進員）の略称です。

③総務係

新任社会保険事務担当者講習会	4月24日（月）
労働保険年度更新事務講習会	5月8日（月）
算定基礎届事務説明会	5月25日（木）
朝倉地区企業内同和問題推進協議会研修	7月12日（水）
働き方セミナー	10月25日（水）
年末調整事務講習会	11月6日（月）・11月14日（火）
会計・財務入門講座	11月7日（火）
会計・財務実務者セミナー	11月8日（水）
市町村社会福祉協議会会計セミナー	2月2日（金）
短時間労働者に関する健康保険講習	1月26日（金）
入退社事務講習会	2月26日（月）
市町村社協会長・事務局長会	1月22日（月）
両筑地区社協会長・事務局長会	4月17日（月）・12月7日（木）
両筑地区社協事務局長会議	10月20日（金）・3月22日（金）

（4）広報活動の推進（広報・ホームページ）

社協の事業を広く町民に情報発信し、福祉事業への理解と支援を得られるようにしました。

① 広報誌発行

「ちくぜん社協だより」・「声の社協だより」年4回

② 町発行広報誌「広報ちくぜん」による広報・情報提供

③ ホームページのリニューアルに向けた検討や協議を行いました。

・ホームページリニューアル委員会 4回

・リニューアルしたホームページを12月19日（火）に公開しました。

2. 社会福祉事業

(1) 独自事業

① 心配ごと相談事業

日常的に住民が抱える悩みや困りごとなどを相談する窓口として開設し、相談員が助言を行いました。また、無料弁護士相談や専門的に相談できる機関を紹介し問題解決の手助けを行いました。

・毎月第1、第3金曜日に相談日開設

相談員 行政相談委員 2人 調停相談員 2人
人権擁護委員 7人 民生児童委員 4人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総件数
件数	1	3	2	2	3	2	3	0	1	1	4	1	23

※令和4年度実績 33件

<相談内容事項ごとの解決状況>

相談事項	相談件数	解決	再来	民生委員	他機関	無料弁護士	その他
生計	2				2		
年金	2	1				1	
生業・職業	1						1
住宅	3	1	1				1
家族	3	3					
医療	2	2					
精神衛生	1						1
財産	3				2		1
苦情	3	2					1
その他	3	2			1		
合計	23	11	1	0	5	1	5

・相談員を対象に研修会を開催 参加人数 12人

令和6年2月29日(木)「民事扶助・相談から解決までの事例」について

(2) 受託事業

① いきいきサロン事業

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、地域みんなが支え合い、共に元気で楽しく心を通わせる場となるサロン事業を推進しました。

サロンメニューの中に健康づくりに役立つレクリエーションを取り入れ、介護

予防にも重点を置き活動しました。

- ・開催地区 33 地区 ※昨年度 33 地区
- ・実施地区 33 地区 ※昨年度 31 地区
- ・延実施回数 338 回 ※昨年度 259 回
- ・延参加人数 4,977 人 ※昨年度 3,837 人

ア) サロン代表者会議

- ・4月21日(金) サロン実施内容の説明と助成金交付
- ・9月6日(水) 合同交流会内容協議
- ・2月8日(木) 令和5年度実施報告と令和6年度計画

イ) 野外活動

5月	9月	10月	11月	3月	計
3	6	12	5	1	27 地区

ウ) 合同交流会

合同交流会の参加希望アンケート調査を行い、合同交流会を2日間に分けて開催しました。

開催日	参加地区数	参加人数
12月6日(水)	10 地区	112 人
12月12日(火)	10 地区	99 人

エ) 悪徳商法、防犯講座の実施(3ヵ年計画)

安全、安心の筑前町の確立を目的に朝倉警察署と協力し、全地区の講座を目指し、今年度は11地区で講座を実施しました。

4月	5月	6月	7月	9月	11月	1月	計
4	1	1	2	1	1	1	11 地区

オ) 住宅火災予防講座の実施

筑前町の住宅火災予防として、甘木・朝倉消防署西部分署と協力し、住宅火災予防講座を15地区で実施しました。

4月	5月	6月	7月	9月	11月	2月	計
3	3	4	2	1	1	1	15 地区

カ) 各サロンの取り組み

町の出前講座	60 回
その他の講座	48 回
独自活動	38 回
園児・小学生との交流	5 回

② 放課後児童健全育成事業

小学生を対象に、放課後こどもが帰宅しても就労等のため保護者が不在等の家庭に代わって保育を行いました。

ア) 保護者、学校、こども未来センターと連携を図り、児童の見守り・支援を行いました。

イ) 安全第一での運営を推進するため「安全管理マニュアル」に則した運営に取り組み、「安全計画」に沿って、点検・訓練等を行いました。

・避難訓練 1回 ・消化訓練 1回

・安全教育 3回 ・安全点検 12回

ウ) 統括支援員が随時学童保育に入り支援員との更なる連携強化に努めました。

エ) 研修会に参加し、支援員の資質向上を図りました。

・全体研修「日常的な応急手当について」 参加人数 10人

・資質向上研修（2日間） 参加人数 4人

・資質向上実践研修（3日間） 参加人数 3人

・全体研修「こどもの特性をコミュニケーション」 参加人数 13人

・全体研修「日本年金機構」 参加人数 13人

・学童保育研究集会 参加人数 2人

オ) 利用児童の増加に伴い、みわっ子 SUN²クラブでは第2学童を開設しました。

・のびのびクラブ 待機児童最大20人。（6月に解消。※入所辞退）

カ) 入所児童数

	みわっ子SUN ² クラブ 第1学童		みわっ子SUN ² クラブ 第2学童		のびのびクラブ		学童保育所 合計	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月
1年	41	31	0	0	40	34	81	65
2年	24	24	20	18	23	20	67	62
3年	10	9	7	8	18	12	35	29
4年	5	4	2	2	2	2	9	8
5年	0	0	3	2	1	1	4	3
6年	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	80	68	32	30	84	69	196	167

※夏休みのみの受け入れ

・みわっ子 SUN²クラブ第1学童 2人

・みわっ子 SUN²クラブ第2学童 8人

・のびのびクラブ 0人

キ) 学童連絡会の開催

関係機関との連携と情報共有の場として、こども課、こども未来センター教育課、各小学校学童担当教諭の参加で実施しました。

- ・ 2 学童合同 2 回
- ・ みわっ子 SUN² クラブ 3 回
- ・ のびのびクラブ 3 回 合計 8 回

③ 障害者相談支援事業

障がいのある人が自立した生活を営むことができるように、情報提供の便宜や、権利擁護のための必要な援助、市町村やサービス事業者との連絡調整を行いました。障害者総合支援法に基づき事業を推進しました。

ア) 指定特定相談事業

スムーズな障害福祉サービスの利用ができるようにサービス等利用計画の作成を行いました。

- ・ サービス等利用計画 23 件（モニタリング含む）

イ) 指定一般相談支援事業

障がいに関する多様な相談に障害者相談支援専門員が対応しました。
また、心配ごと相談日に合わせて、障がい相談日を開設しました。

- ・ 相談業務 96 件 ※昨年度 164 件

減少の要因 相談機関の増加に伴い、相談先が分散している。

令和元年 130 事業所から令和 5 年度 175 事業所に増加

- ・ 障がい相談日 毎月第 1、第 3 金曜日に開設 件数 2 件

④ 障害支援区分認定調査

障害福祉サービスの利用を希望する本人の心身の状態や生活状況を聞き取り必要性を調査し、調査票の作成を行いました。

- ・ 認定調査 195 件 ※昨年度 202 件

⑤ コミュニケーション支援事業

聴覚障がい者が自立した社会生活を営むための情報を得る手段として手話通訳及び要約筆記通訳の派遣を行いました。

ア) 利用登録者 12 人

イ) 手話登録者 8 人 ウ) 要約筆記登録者 4 人

エ) 利用実績

月 内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
医療・生命・健康	3	2	6	2	4	4	3	3	5	2	2	3	39
権利・法律										1			1
福祉・行政事務手続き												1	1
教育・保育							4	4					8
人間関係	3	4		1	2		5	3	2				20
その他		2		4	1	1	1		1	3	3	4	20
合計	6	8	6	7	7	5	13	10	8	6	5	8	89

※昨年度実績 60 件

⑥ 在宅介護者の支援

介護者のリフレッシュとよりよい介護につながるような情報交換の機会を提供しました。また事業内容の周知、新規参加者の開拓のため、関係者及び関係機関へチラシの配布を行いました。

- ・ 5 月 25 日 (木) 糸島市 (遊覧船・買い物・交流) 参加者 11 人
- ・ 11 月 28 日 (火) 添田町 (龍門峡散策・買い物・交流) 参加者 11 人
- ・ 2 月 20 日 (火) めくばーる健康福祉館他 (演芸ショー・交流) 参加者 12 人
- ・ 延べ参加者人数 34 人 ・ 新規参加者数 7 人 ※昨年度 33 人

⑦ 資金貸付事業

ア) 生活福祉資金貸付事業

県社協の相談窓口として、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長を図るための貸付相談を行いました。

- ・ 相談件数 延べ 37 件

貸付申請件数

- ・ 緊急小口資金 3 件 ・ 教育支援資金 6 件 ・ 福祉費 1 件

- ・延滞利息猶予申請 1 件

イ) 生活困窮相談支援事業

コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受け、生活困窮に陥った世帯からの相談を受け、様々な相談機関と連携をとり、生活再建に向けての支援を行いました。また、生活福祉資金特例貸付の償還免除対象世帯にアンケート調査を実施し現状把握に努めました。アンケート回収後、聞き取りや支援が必要な世帯を精査し、面談及び聞き取り後に関係機関へ繋ぎました。

- ・対象件数 103 件（内 3 件転居先不明）
- ・実施時期 10 月～3 月
- ・アンケート回収 37 件 ※訪問による回収を実施
- ・支援が必要な世帯 10 件（経過観察を含む）
- ・貸付状況

貸付件数 684 件（貸付期間令和 2 年 3 月～令和 4 年 9 月）※筑前町 759 件

貸付名称	件数
特例緊急小口資金	307 件
特例総合支援資金	253 件
特例総合支援資金（延長）	66 件
特例総合支援資金（再貸付）	58 件

- ・償還（令和 6 年 3 月末現在）

償還開始日	償還対象貸付期間、貸付名称	件数（内免除世帯数）
令和 5 年 1 月	令和 2 年 3 月～令和 4 年 1 月	495 件（186 件）
令和 5 年 2 月	令和 2 年 2 月	7 件（4 件）
令和 5 年 3 月	令和 2 年 3 月	8 件（4 件）
令和 6 年 1 月	令和 4 年 3 月以降	116 件（41 件）
令和 7 年 1 月	特例支援資金（再貸付）	58 件（未定）

⑧ 日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行い、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援しました。

- ・利用者実績 13 人
- ・新規利用者 3 人
- ・解約者 2 人
- ・生活支援員 7 人（内町民支援員 5 人）
- ・専門員 3 人（社協職員）

ア) 適切に事業を活用してもらえるように、事業内容の周知・啓発を行いました。

イ) 研修会に参加し、担当職員の知識向上を図りました。

ウ) 生活支援員養成研修会の開催

11月16日(金) 受講者4人

⑨ ボランティアセンター運営事業

地域住民を対象にボランティアの理解と活動の推進を行いました。

ア) 情報の発信

- ・センターだよりの発行(6、9、12月)
- ・ホームページリニューアル及びデータ更新

イ) ボランティア依頼の対応および活動の提供

- ・ボランティア依頼への対応及びボランティアへの調整を行いました。

ボランティア登録数 団体 19団体(239人) 個人 42人

(昨年度 団体 14団体(206人) 個人 40人)

依頼数 66件

(高齢分野13件 障がい分野11件 子ども分野31件 地域活動分野11件)

マッチング数 66件

活動者数 延べ161人

- ・活動の場の充実を図るため町や町内、近隣福祉施設等と連携を行いました。

ウ) 児童・青少年福祉事業と連携した福祉教育への取り組み

- ・小・中学生向けに福祉教育の啓発と推進を行いました。

エ) ボランティアセンター運営委員会の実施(5月9日<火>、11月9日<木>)

オ) 各種ボランティア講座の実施

講座後のボランティア活動や地域福祉への興味・関心につながる講座を実施しました。

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----|
| i. ボランティア入門講座 | (7月21日<金>) | 11人 |
| ii. 音訳ボランティア養成講座 | (7月27日<木>) | 8人 |
| iii. 小・中学生向け手話体験講座 | (8月1日<火>～3日<木>) | 17人 |
| iv. 福祉教育サポーター講座 | (9月7日<木>) | 7人 |
| v. 災害ボランティア講座 | (6月17日<土>) | 29人 |
| vi. 小物づくり講座 | (10月13日<金>) | 10人 |
| vii. 外出サポートボランティア講座 | (10月26日<木>) | 6人 |

カ) ボランティアの活動支援

登録ボランティア団体・個人への活動をサポートし、下記の取り組みを行いました。

- i. 事前登録災害ボランティアの立ち上げ 登録 8 人
- ii. ボランティア団体の運営に関する相談及び助成金申請に関するサポート
- iii. 登録ボランティア同士の情報交流会（2 月 3 日〈土〉）参加者 70 人
- iv. ボランティア体験会実施（令和 6 年度実施予定）に向けたボランティア団体等との調整

⑩ 生活支援コーディネーター事業（S C）

いつまでもこの地域で暮らしていけるように、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実が図られるよう身近な地域での支え合いを推進しました。

また地域や個別の相談に対して、スポットに介入し関係機関との連携も踏まえ、支援が必要な人に対して断らないサービスに努めました。

ア) 町 L I N E 脳若 365 を活用した情報発信

- ・発信回数 69 回 ※昨年度 40 回
- ・主な発信内容 住民参加型有償生活支援サービス事業の実績報告、いきいきサロン情報、地域活動情報、社協事業の募集、支えあいだより等

イ) つどいの場の立ち上げ（見える化）の推進

地域の支え合いのきっかけとなるつどいの場の設立推進の手伝いや、現在水面下で活動しているつどいの場の見える化を推進しました。

- ・松延新道区スマイルクラブ実行委員会への参加（令和 6 年 5 月発会）
- ・櫛木区つどいの場立ち上げ手伝い
- ・赤坂区いきいきサロン発会手伝い（令和 6 年 4 月発会）
- ・中牟田村区つどいの場立ち上げ手伝い
- ・南部 5 区地域活動取材

ウ) 住民参加型有償生活支援サービス事業の継続と発展

「かせし隊」の増員を図るため、民生委員会や各行政区等の例会に出向き、事業の紹介を行いました。

- ・新規依頼件数 18 件
- ・実施決定件数 17 件
- ・延べ支援回数 423 回（内 S C 支援回数 60 回） ※昨年度 285 回

- ・かせし隊登録者数 29 人 ※昨年度 21 人
- ・主な支援内容 買物代行、ゴミ出し（資源ゴミ含む）、買物付き添い散歩の付き添い、郵便物の確認等
- ・かせし隊スキルアップ講座の実施
実績報告とグループワークで活動への質問や意見、支援を行う上での不安な点や悩み等を共有し活動しやすい環境になるような講座を実施しました。

11 月 29 日（水）参加者 15 人

エ）筑前町事業福祉サービス、事業サービスパンフレットの作成

町、福祉関係事業所や福祉団体、民間事業所等すべての生きがいや暮らしの情報を網羅したパンフレットの作成のため、町（包括支援センター）と協議を行いました。

今後も令和 7 年度の完成を目指して町との協議をはじめ、掲載情報の収集を行います。

（3）共同募金配分金事業

A. 高齢者福祉事業

① いきいきサロン応援隊の育成

応援隊のレクリエーション技術と知識の向上のため、2 回の研修を行いました。

日程	講師	参加人数
3 月 5 日（火）	福岡県レクリエーション協会	13 人
3 月 7 日（木）	NPO 法人 ココフル	9 人

② ひとり暮らし高齢者のつどい

心身をリフレッシュし、参加した仲間と交流を深めるため、糸島市（伊都菜彩、伊都の湯どころ）へ外出しました。

日程	参加人数
11 月 7 日（火）	33 人
11 月 13 日（月）	22 人

③ 聞こえのおはなし講座

誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進するため、中途失聴や難聴、加齢による聞こえに不安のある当事者や地域住民を対象に、理解とコミュニケーション方法を学ぶ講座を実施しました。

・ 9月3日（日） 参加者 20 人

④ 敬老の日祝い事業

白寿と米寿を迎えられた人へ敬老のお祝い品を贈呈しました。

・ 白寿(99 歳) 23 人 ※昨年度 6 人

・ 米寿(88 歳) 145 人 ※昨年度 161 人

⑤ 金婚お祝い事業

結婚 50 年を迎えられた 31 組の夫婦にお祝いの記念品を贈呈しました。

・ 記念品 クリスタルフォトフレーム

⑥ シニアクラブ連合会への配分及び支援

活動に対する事務支援や相談支援と助成金配分を行い、会員増強に協力しました。

⑦ 遺族会への配分及び支援

遺族会活動の事務支援と助成金配分を行いました。

B. 障がい者福祉事業

① 障がい者のつどい

障がい者と地域住民のふれあいの場を提供し、障がいへの理解の推進を行いました。

・ 開催日 11 月 18 日（土）

・ 内 容 ボッチャ体験・交流会

※ボッチャ＝パラリンピックの正式種目であり、赤玉、青玉の 2 チームに分かれ 6 球ずつ投球し、ジャックボール（目標球）にいかに近づけるかを競うスポーツ

・ 参加者 42 人

② 大人のための手話体験講座

講座を通じて聴覚障がい者の理解と手話への関心を推進することを目的に聴覚障がい者と地域住民が触れ合える場として実施をしました。

・ 8月23日～9月27日（毎週水曜） 計6回 ・ 受講者6人

③ 福祉用具の貸与

地域福祉活動の支援及び在宅福祉における利用者や家族の日常生活の負担軽減のため、福祉教育用具や介護福祉用具の貸出を行いました。また広報紙等を活用し、事業内容の周知に努めました。

・ 車いす 66件 ・ 電動ベッド 2件

④ 身体障害者福祉協会の配分及び活動支援

活動への事務支援と助成金配分を行いました。

⑤ 障がい者小規模作業所への配分

町内3か所の小規模作業所へ助成金配分を行いました。

C. 児童・青少年福祉事業

① 小学生の福祉教育の推進

各小・中学校の要望や年齢に応じた「ふくし」への理解と芽生えを目的に、福祉教育を推進しました。

ア) 学校向けのパンフレットを活用し、福祉教育の提案、実施しました。

〈実施校〉 ※小学校は4年生、中学校は1年生が対象。

三輪小学校	・ 社会福祉協議会ってどんなところ？	1回
	・ 高齢者と支え合う筑前町の取り組み	1回
	・ ゲストティーチャーとの交流&車いす体験	4回
	・ ゲストティーチャーとの交流&視覚障がい体験	4回
	・ ゲストティーチャーとの交流&手話体験	4回
	・ 「知ってる？ ボランティア活動のこと」プログラム	1回
	・ 「知ってる？ 赤い羽根共同募金」プログラム	1回
東小田小学校	・ ゲストティーチャー（視覚障がい者）との交流	1回
	・ 「やってみよう！ 視覚障がい体験」プログラム	3回
	・ ゲストティーチャー（車いすユーザー）との交流	1回

	・車いす体験	3回
中牟田小学校	・「知ってる？赤い羽根共同募金」プログラム	1回
	・「知ってる？ボランティア活動のこと」プログラム	1回
	・ゲストティーチャー（車いすユーザー）との交流	1回
	・車いす体験	3回
三並小学校	・車いす体験	1回
	・「知ってる？赤い羽根共同募金」プログラム	1回
	・「知ってる？ボランティア活動のこと」プログラム	1回
	・ゲストティーチャーとの交流&視覚障がい体験	1回
	・コスモスプラザ見学&ユニバーサルデザイン	1回
三輪中学校	・福祉学習	1回
	・車いす体験、視覚障がい体験、妊婦・高齢者体験	3回
	・振り返り学習	1回
夜須中学校	・車いす体験、視覚障がい体験、妊婦・高齢者体験	4回
イ) 地域住民（福祉教育サポーター）や町、社会福祉法人と連携し、授業に取り組みました。		
ウ) 福祉教育教材「ともに生きる」を希望する小学校へ配布しました。		
三輪小学校	141冊	東小田小学校 86冊
中牟田小学校	85冊	三並小学校 10冊
エ) 地域住民向けの新プログラムを作成しました。		

② 福祉協力校への配分

町内の小学校と中学校へ助成金配分を行いました。

- ・小学校4校（三輪小学校、東小田小学校、中牟田小学校、三並小学校）
- ・中学校2校（三輪中学校、夜須中学校）

③ 福祉教育用具の貸与 5件

D. その他の福祉事業

① 福祉育成

ア) バス停の管理(14ヶ所)と老朽化した栗田バス停(下り)の補修を行いました。

イ) レクリエーション用具の貸与 35件

② ボランティア活動

- ア) ボランティア連絡協議会への活動支援と助成金配分を行いました。
- イ) 災害ボランティア活動者に対し保険の助成を行いました。34 件
- ウ) 地域住民が地域を住みよくするため支え合い活動実施団体への助成金「筑前町を良くする助成金」を行いました。
 - ・ 申請及び決定団体数 5 団体
 - ・ 助成金総額 338,436 円

3. その他

(1) 社会福祉法人連絡会

① 社会福祉法人連絡会（施設長会）

※ 8 法人で組織（菊池園、朝老園、朝倉苑、善正会、第二野の花学園、武光福祉会、すぎのこ会、社協）

ア) 9 月 11 日（月）第 1 回筑前町法人連絡会

- 議題
- ・ サポーター部会からの活動報告
 - ・ 福岡県総合防災訓練の報告（環境防災課から）
 - ・ 情報交換会

イ) 2 月 15 日（木）第 2 回筑前町法人連絡会

- 議題
- ・ サポーター部会からの報告
 - ・ 能登半島地震の DWA T 派遣について
 - ・ 筑前町 DWA T（社協を除く 4 法人登録）について
 - ・ 情報交換会

② サポーター部会

※ 5 法人で活動（菊池園、朝老園、朝倉苑、善正会、社協）

ア) ライフレスキューサポーターが、生活困窮者に対する支援を行いました。

- ・ 支援件数 9 件
- ・ 対応回数 52 回
- ・ 対応人数 延べ 92 人

イ) 毎月 1 回、サポーター部会を開催し、事例検討と情報の共有を行いました。

- ・ 開催回数 11 回
- ・ 参加人数 延べ 55 人

ウ) リユース品の貸与 1 件 提供 1 件

エ) 様々な社会貢献活動に取り組みました。

- ・ 社会貢献活動 1 回 対応人数延べ 5 人
- ・ 町内中学校の福祉体験学習協力 2 回 対応人数延べ 7 人

(2) まちづくり出前講座

- ①介護予防のための軽運動 3回
- ②レクリエーション用具で遊ぼう！ 33回（内1回は中止）
- ③はじめてみよう！ボランティア活動 0回
- ④地域住民向けに福祉への理解推進のため、福祉についての出前講座『体験してみよう！！身近な「ふくし」』を作成しました。

(3) 災害ボランティアセンター

筑前町災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書の見直しができませんでした。町との協定書の見直し・締結後、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しに取り組みます。

(4) 災害支援

7月の豪雨災害により、両筑地区社会福祉協議会災害時総合協定に基づき東峰村災害ボランティアセンターに職員派遣を行いました。

また、久留米市社会福祉協議会から、両筑地区社協へお盆期間の派遣要請があり職員を派遣しました。

市 町 村	日数	職員数
東峰村災害ボランティアセンター	22	46
久留米市災害ボランティアセンター	5	5

(5) 地域担い手講座（福祉入門講座）

働く世代を対象に、地域活動やボランティア活動に興味・関心を持ってもらう取り組みとして、「集まる×楽しむ×ツナガル 地域づくりのススメ」ワークショップを実施しました。 11月25日（土） 参加者21人